

健幸都市インデックス（SWCバリュー）による評価

- ◎健幸都市の総合評価であるSWCバリューの2.0星（満点3つ星）を見附市が獲得しています。
- ◎総合得点は6.0点（10点満点）でした。



【健幸都市インデックスとは】

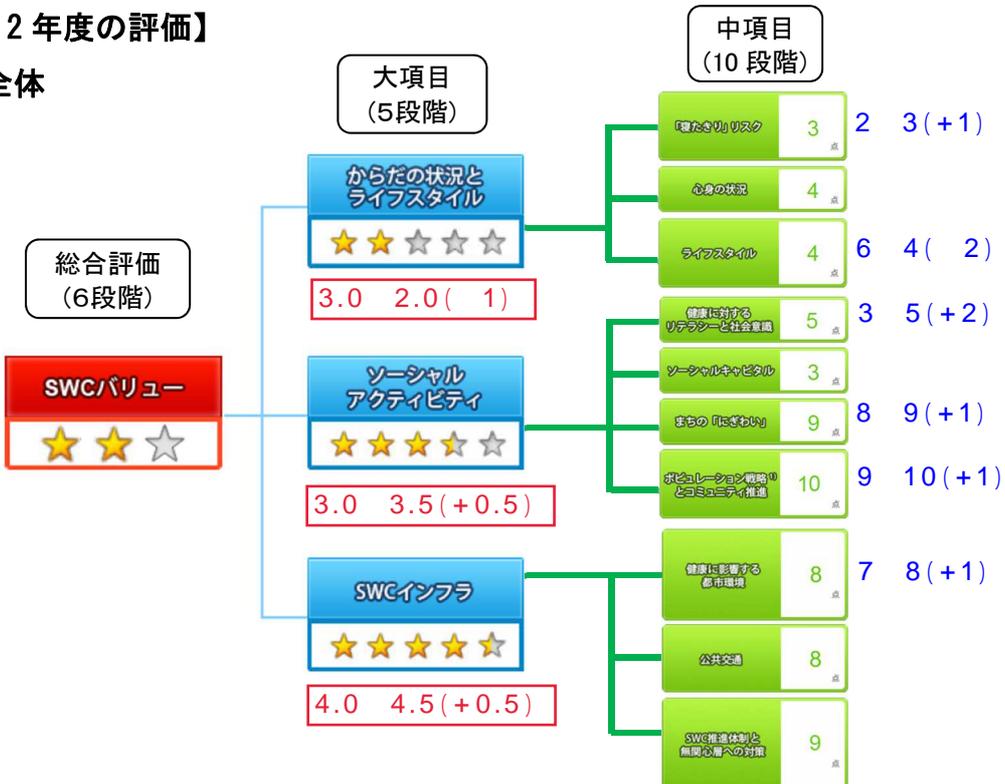
- 自治体の健康施策の成果を客観的データから分析し星取り数で表示するものです。
- 今年度の基データは令和2年度に実施した成果となります。（1年遅れの評価）

【健幸都市インデックスの構成】

- 大項目（3項目）－中項目（10項目）－小項目（28項目）で構成し、それぞれの項目に対し重要度に応じた評価のための重み付けが行われ、点数が算出されています。
- 「SWCバリュー」は、6段階評価で☆（最高点は☆☆☆）の数で表され、健幸なまちづくりが総合的・客観的に評価されるものです。

【令和2年度の評価】

① 全体



② 総合評価

総合得点は昨年度から維持されており、2.0星(最高は3星)の評価を得ています。

総合評価 (最高☆3個)	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度実績	R5年度目標
SWCバリュー (☆の数)	1.5	2.0	2.0	2.0	3.0

③ 大項目の評価

「からだの状況とライフスタイル (-1.0)」が低下、「ソーシャルアクティビティ (+0.5)」 「SWCインフラ (+0.5)」が向上しました。

大項目の評価 (最高☆5個)	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度実績	R5年度目標
1. からだの状況とライフスタイル	2.5	2.5	3.0	2.0	4.5
2. ソーシャルアクティビティ	3.0	3.5	3.0	3.5	5.0
3. SWCインフラ	4.0	4.0	4.0	4.5	5.0

④ 中項目の評価

「寝たきりリスク (+1)」、「健幸に対するリテラシー (+2)」、「まちなにぎわい (+1)」、「ポピュレーション戦略とコミュニティ推進 (+1)」、「健康に影響する都市環境 (+1)」が向上、「ライフスタイル (-2)」が低下しました。

中項目の評価 (満点10点)	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度実績	R5年度目標
1. からだの状況とライフスタイル：施策により結果的に変化する指標					
1-1. 寝たきりリスク	2	2	2	3	9
1-2. 心身の状況	3	4	4	4	9
1-3. ライフスタイル	6	5	6	4	9
2. ソーシャルアクティビティ：施策が直接的に影響する指標					
2-1. 健幸に対するリテラシー	5	4	3	5	10
2-2. ソーシャルキャピタル	3	4	3	3	10
2-3. まちなにぎわい	7	7	8	9	10
2-4. ポピュレーション戦略とコミュニティ推進	9	9	9	10	10
3. SWCインフラ：施策が直接的に影響する指標					
3-1. 健康に影響する都市環境	6	7	7	8	9
3-2. 公共交通	7	8	8	8	9
3-3. SWC推進体制と無関心層への対策	8	9	9	9	10

※評価点の見込み

見附市は Smart Wellness City を推進する先進地として、筑波大学、つくばウエルネスリサーチ、損害保険ジャパン株式会社と共同で、厚生労働省及び経済産業省の「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」の一環として、健康二次被害・予防のための実証事業を行う等、コロナ禍における健幸都市推進を継続して行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響がある中で、からだの状況とライフスタイルについての得点で減少がみられました。一方で、感染対策を講じた上での事業継続が定着し、健康二次被害予防に貢献しているためSWCインフラの得点が増加しています。それらの結果、総合得点は昨年度と変わらず2.0点を維持しています。